

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」

※令和5年度「学校教育の重点」より

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性・規範意識の芽生え
5. 社会生活との関わり
6. 思考力の芽生え
7. 自然との関わり・生命尊重
8. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
9. 言葉による伝え合い
10. 豊かな感性と表現

※なお、これらの姿は、それぞれの項目が個別に取り出されて指導されるものではない。

また、幼児教育は環境を通して行うものであり、とりわけ幼児の自発的な活動としての遊びを通して育っていくことに留意する必要がある。